

教職員向け 男女共同参画リーフレット



～ 性別にとらわれず、自分らしくいきいきと ～

はじめに

社会活動や個人の生き方は多様化していますが、「男だから、女だから」という性別による役割分担意識や考え方は、人々や社会の中に広く存在しています。このような意識や考え方は、決して否定されるものではありません。しかし、性別に対する思い込みや決め付けが強すぎると、自分自身だけでなく他人に対しても、「自分らしく」という生きる力を妨げてしまうことがあります。

このような役割分担の意識や考え方は、子どもの頃からの成長過程でさまざまな影響を受けながら形成されていきます。子どもたちが性別にとらわれず、自分らしくいきいきと成長していくことが大切だと考えます。そのためには、子どもたちの身近にいる保護者や教職員の方々が、

「性別にとらわれず、自分らしく生きる」という男女共同参画の基本理念について理解を深めていくことが重要であると考えています。

そこで、教職員の皆様に、男女共同参画について改めて考えていただき、学校が教職員の皆様及び子どもたちにとって、より一層居心地の良い場所になるよう、このリーフレットを作成しました。

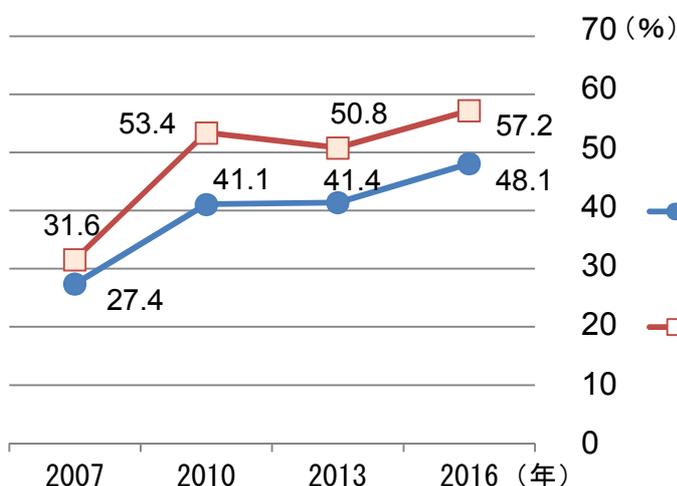
「男は仕事、女は家庭」？

市政世論調査によると、「男は仕事、女は家庭」に代表される固定的な性別役割分担意識について、同感しない人の割合は、**女性は約6割、男性で約5割**となっており**男女間での違いはあるものの、女性、男性ともに割合が増えてきました。**

「男は仕事、女は家庭」という意識は、個人の考え方として否定されるものではありませんが、このような意識に基づいて、何気なく口にした言葉や指示などから、知らず知らずのうちに、子どもたちに性別役割分担意識を植えつけてしまうおそれがあります。

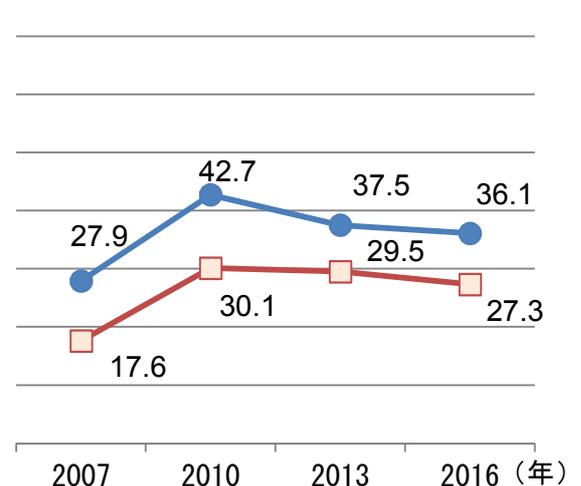
■ 同感しない人の割合

※「同感しない」「どちらかといえば同感しない」の合計



■ 同感する人の割合

※「同感する」「どちらかといえば同感する」の合計

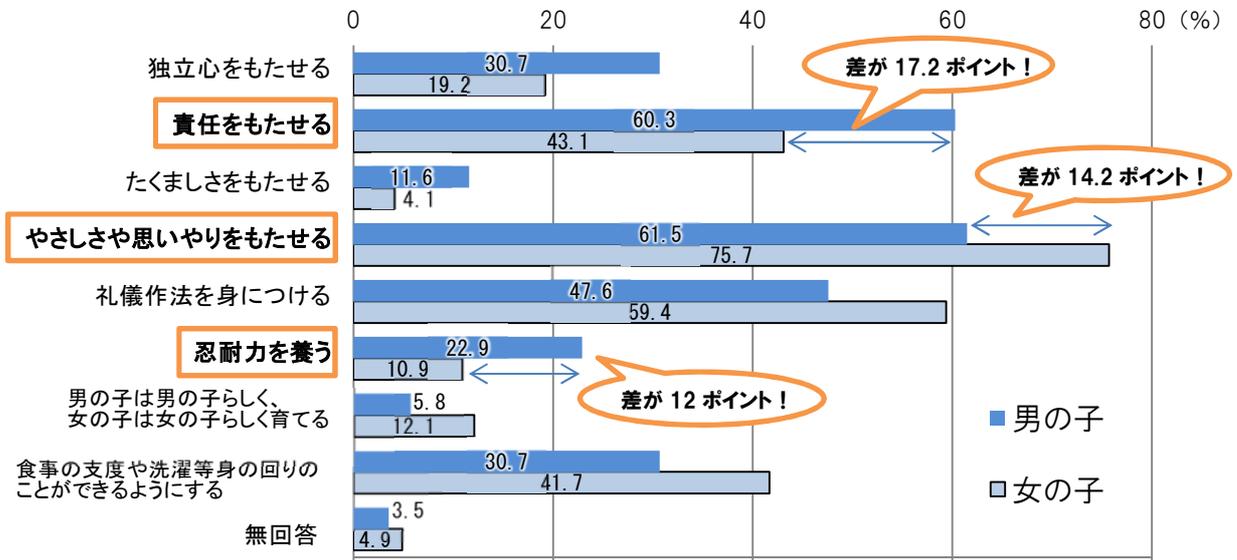


(市政世論調査より)

男の子と女の子で期待することがちがう？

市政世論調査によると、子どもに対して、男の子には「責任」「忍耐力」「独立心」、女の子には「やさしさや思いやり」「家事ができること」「礼儀作法」をもたせるといった期待が強く、「男らしさ、女らしさ」のイメージが教育やしつけにも影響していることがわかります。

■ 子どもに対する教育・しつけで大切だと思うこと (平成30年度(2018年度) 市政世論調査より)

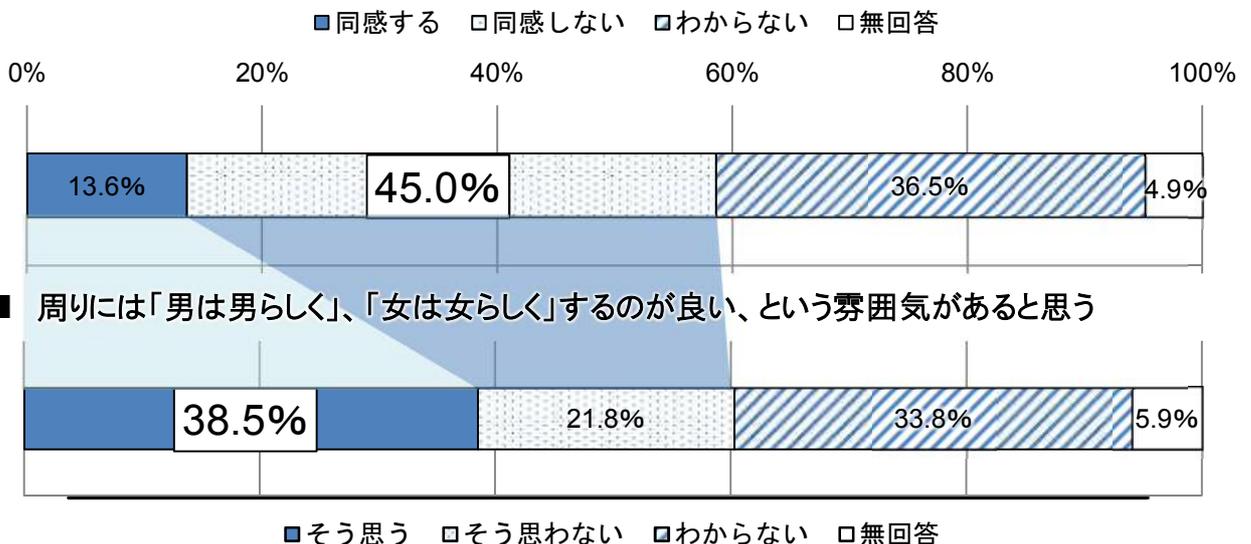


高校生とその周りの「男は男らしく、女は女らしく」の考え方は？

県立高校に在籍する2年生の生徒を対象に、三重県男女共同参画支援センターが実施した調査によると、「男は男らしく、女は女らしくするほうがよい」という考え方について、「同感しない」割合が最も高くなっています。しかし、「周りには『男は男らしく』、『女は女らしく』するのが良いという雰囲気があると思う」とことについて、「そう思う」が最も高いことがわかりました。

「男だから」「女だから」と性別にとらわれることなく、大人は、子どもたち一人ひとりの多様な所や可能性を信じて、それを伸ばしてあげられるような存在でありたいものです。

■ 「男は男らしく」、「女は女らしく」するほうがよいという考え方



(三重県男女共同参画支援センター「フレンテみえ」：多様な性と生活についてのアンケート調査より)

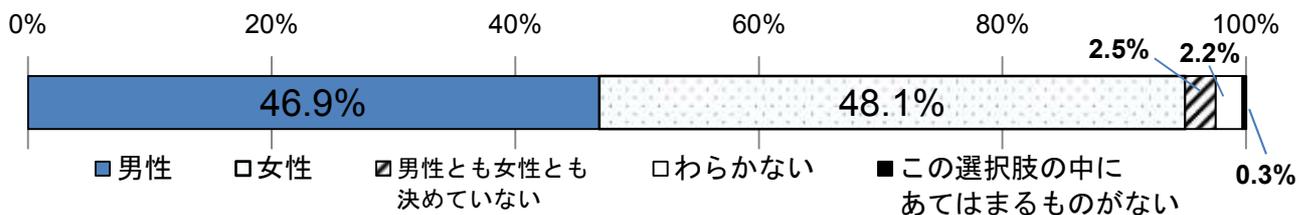
男？女？性別の不一致や性的指向に悩む子どもたち

以下の3つの調査は、三重県男女共同参画センターで、県立高校に在籍する2年生を対象に、「多様な性と生活についてアンケート調査」を平成29年(2017年)に実施した結果になります。

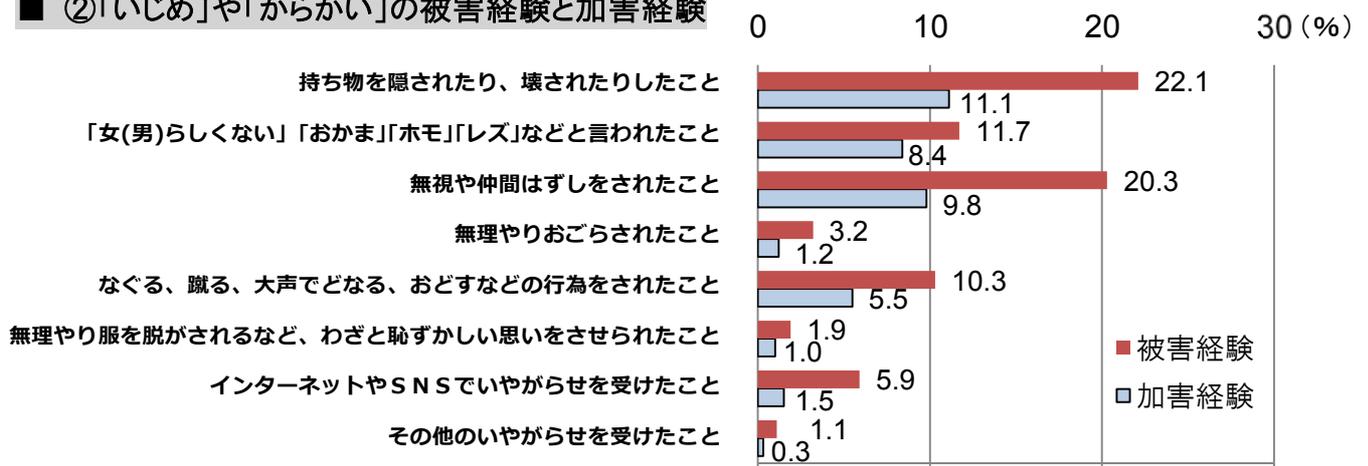
多様な性のあり方について正しい理解と認識を深め、すべての子どもが安心して学校生活を送ることができるよう、性的マイノリティ^{*}に係る児童生徒への配慮と、他の児童生徒への配慮との均衡をとりながら支援を進めることが重要になります。

* 性的マイノリティ…体の性と心の性(自分が思う自分の性)とが一致しない人や恋愛対象として好きになる性(性的指向)が同性や両性(男性、女性の両方)である人のことで、「性的少数者」「LGBT」と表現することもあります。

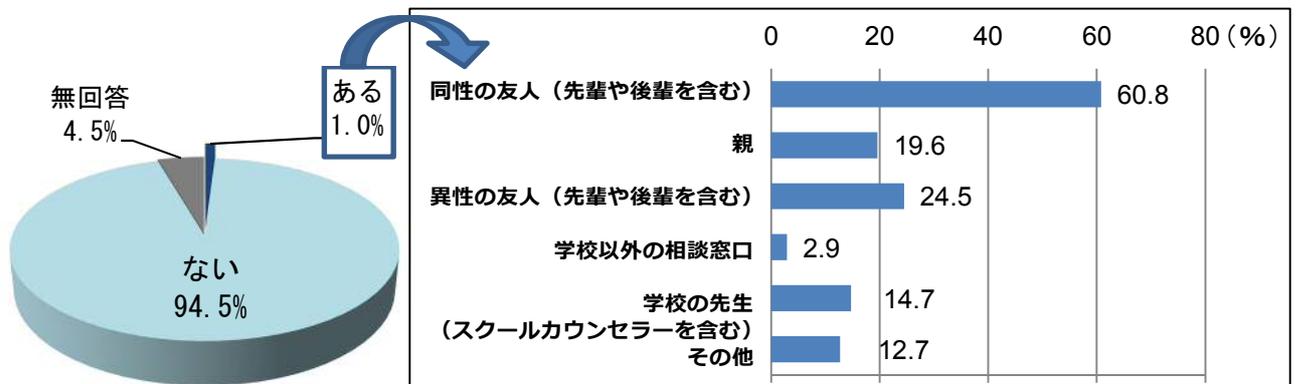
■ ①あなたは自分の性(心の性)をどのように感じていますか ※体の性では、男性：48.6%、女性：51.4%と回答



■ ②「いじめ」や「からかい」の被害経験と加害経験



■ ③性的マイノリティについて相談した相手



(①～③三重県男女共同参画支援センター「フレんてみえ」：多様な性と生活についてのアンケート調査より)

※性別の不一致に悩む児童生徒への対応マニュアルについては、「School Engine グループウェア」→「キャビネット」→「04 指導課 651 性別の不一致に悩む児童生徒への対応」を参照してください。

発行 平成31年(2019年)1月
越谷市市長公室人権・男女共同参画推進課
電話 048-963-9113(直通)
E-Mail jinkendanjo@city.koshigaya.lg.jp